

# エコ・へるす

〇〇●● 長野県環境保全研究所ニュース 平成28年(2016年)8月31日発行 ●●〇〇  
 安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415  
 飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929  
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.html> Email: kanken@pref.nagano.lg.jp

特集 『蚊媒介性感染症』

## 蚊媒介性感染症

夏は活発に蚊が活動する季節です。できるだけ刺されないように注意したいものですが、一昨年東京・代々木公園を発端に、約70年ぶりに国内感染が発生したデング熱など、蚊が媒介し時には重大な健康被害をもたらす感染症も気がかりです。

デング熱などは蚊媒介性感染症と呼ばれていますが、蚊媒介性感染症とは文字どおりヒトへの感染を蚊が媒介する感染症のことです。日本で発生、あるいは持ち込まれる可能性の高い疾患としては、ウエストナイル熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱、日本脳炎、マラリアの6疾患があげられます。このうち日本脳炎は不活化ワクチンによる予防接種により国内での流行はあまり耳にしなくなりました(年間10名未満)。またマラリアは医師の処方による予防内服が有効とされ、以前は国内での感染・流行がありましたが現在は海外感染例(海外で感染した症例)の報告のみです。しかしウエストナイル熱やデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症にはワクチンも予防薬もありません。厚生労働省の「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」(告示第260号、平成28年一部改正)によると、このうちウエストナイル熱については、ヒトが発症した時の血中におけるウイルス量が少なく、しかも媒介蚊のみを介したヒトからヒトへの感染環が成り立たない(鳥類が必要)とされています。した

がって特に海外感染例を起点として国内感染症例が発生し感染が拡大することが懸念されているのは、デング熱、チクングニア熱及びジカウイルス感染症です。(デング熱についてはエコ・へるすNo.53参照)

世界では広く熱帯・亜熱帯地域でデング熱とチクングニア熱が、また2015年(平成27年)5月以降、中南米を中心にジカウイルス感染症が流行しております。特に今年は海外で大きなイベントが開催されるなど流行地との間でヒトの往来が特に盛んであることから、国内における感染・流行のリスクは益々高まっている可能性があります。このため媒介する蚊の発生を抑えるとともに、蚊に刺されないように防蚊対策をとることが大切です。

(中沢 春幸 kanken-kansen@pref.nagano.lg.jp)



写真 媒介蚊であるヒトスジシマカ

出典：国立感染症研究所ホームページ  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ent.html>

目次

特集「蚊媒介性感染症」		トピックス「ミネラルウォーター類の検査」	5
・蚊媒介性感染症	1	トピックス「あの原発事故から5年が経ちました」	6
・デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症	2	トピックス「PM2.5を測定しています」	7
・デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症の予防法	3	報告「施設公開・夏休み親子環境講座・研究成果の発表を実施しました」	8
・蚊媒介感染症に関わる長野県行政の取り組み	4	報告「信州環境フェア2016に参加しました」	8

